

第7期高岡市高齢者保健福祉計画・高岡市介護保険事業計画 (平成30年度～令和2年度)の取り組み実績について

1 全般

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数等が減少した事業がある。コロナ禍でもオンラインの活用や事業内容の見直し等により、感染防止対策に努めながら、可能な事業等を展開した。
- ・ 地域住民は、住民間での課題解決や活動実施の必要性を感じているが、担い手の不足等により活動の実施や継続に不安を感じている場合もある。このため、民間企業などの地域資源も活用し、課題解決につなげる取り組みを実施した。

2 指標別の取り組み状況

- ・ ④地域ケア会議における個別事例検討については、複雑・複合化した問題が増加し、地域包括支援センターへの相談内容も多様化している状況が伺える。第8期計画では、市の関係課が横断的に解決すべき課題の整理、支援の方向性を協議し、必要な制度や地域資源を活用した支援体制を強化することとし、令和3年度から福祉連携推進室を設置した。
- ・ ⑥住民主体の通いの場への参加については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため活動の中止を要請したこともあり、令和2年度の参加人数が減少した。一方で通いの場は3か年で33か所が新たに立ち上った。また民間企業等と連携した介護予防活動の場づくりも進めており、第8期計画においても「通いの場」を活用した介護予防活動を推進していく。(イオン高岡店が「第9回健康寿命をのばそう！アワード」において、厚生労働省老健局長優良賞 企業部門を受賞)
- ・ ⑧認知症サポーター養成数については、通常の講座に加え、第7期での新たな取り組みとして、高齢者が接する機会が多い民間企業等(平成30年度：スーパー・コンビニ、令和元年度：美容院・医療機関、令和2年度：新型コロナウイルス感染症のため中止)を対象に開催した。令和元年度からは認知症サポーター養成講座修了者を対象に認知症サポーターステップアップ講座も新たに開催しており、第8期計画においても2講座を継続する。
- ・ ⑪成年後見センターの設置については、平成31年4月に県内で初めて、呉西6市で共同設置(高岡市社会福祉協議会に委託)し、成年後見に関する相談、市民後見人養成講座の開催、法人後見業務を実施している。第8期計画では、市民後見人として活動できる人材の育成等成年後見制度の利用促進に努めていく。

- ・⑬地域密着型サービスの配置については、第7期計画期間中に小規模多機能型居宅介護2か所、看護小規模多機能型居宅介護1か所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護2か所を整備する予定としていた。公募時に新型コロナウイルス感染症の拡大により先行きが不透明であったことから、事業所側の参入希望が少なくなり、小規模多機能型居宅介護1か所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護1か所が未整備となった。

第8期計画においては、介護サービス必要者数や事業者の参入意向等の供給体制を踏まえ、また第7期計画未整備分も考慮し、サービス整備に努める。

※小規模多機能型居宅介護は、第8期計画において、小規模多機能型居宅介護に訪問看護を加えた看護小規模多機能型居宅介護として整備。

参考：第8期計画における地域密着型サービスの整備

単位：人（ ）は箇所数

区 分		R 3. 3 末 定員数 (予定)	第 8 期整備 定員数 (R 3 ~ R 5)	合計
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	8 7 (3)	5 8 (2)	1 4 5 (5)
	看護小規模多機能型居宅介護	2 9 (1)	8 7 (3)	1 1 6 (4)
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	4 8 6 (3 3)	9 (1)	4 9 5 (3 4)
	地域密着型介護老人福祉施設 (地域密着型特別養護老人ホーム)	9 7 (4)	2 9 (1)	1 2 6 (5)